

八千代市 第2次健康まちづくりプラン

平成 25 (2013) 年度～平成 34 (2022) 年度

世代を超えたまちづくり
心も体も健康に

中間評価 報告書



平成 30 年 3 月

八千代市

目次

第1章	中間評価について	P 1~2
第2章	全体の評価および今後の取り組み	P 3
1	行政・関係機関の取り組みについて	
2	数値目標について	
1)	全世代を通じた大目標について	
2)	目標に対する達成度	
3	全世代の総括評価	
第3章	世代ごとの評価および今後の取り組み	
3-1	すこやか親子世代	P 4~11
1	世代全体の評価および今後について	
2	めざす姿ごとの評価および今後について	
	めざす姿1：親がゆとりを持って、いきいきと子育てしている	
	めざす姿2：親も子ども地域の中で育ちあう	
	めざす姿3：子どもが心身共に健やかに成長している	
3-2	はつらつ成年世代	P 12~15
1	世代全体の評価および今後について	
2	めざす姿ごとの評価および今後について	
	めざす姿1：地域とのつながりを保ちながら、心身ともに支障がなく、 自分らしい生活ができる	
3-3	いきいき高齢者世代	P 16~21
1	世代全体の評価および今後について	
2	めざす姿ごとの評価および今後について	
	めざす姿1：生きがいを持って、いきいき過ごしている	
	めざす姿2：身近な場所でのふれあいを楽しんでいる	
	めざす姿3：心身機能を保ち、認知症、ロコモティブ症候群、低栄養な ど老年症候群を予防する	
第4章	八千代市食育推進計画の目標と取り組み	P 22~24
第5章	八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例に関わる目標と取り組み	P 25~26
資料1	行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25~28年度）の総評	P 27
資料2	数値目標について：目標に対する達成度	P 28
資料3	八千代市第2次健康まちづくりプラン 指標数値の比較一覧	
	【すこやか親子世代】	P 29~30
	【はつらつ成年世代】	P 31
	【いきいき高齢者世代】	P 32

3) 第2次プラン推進・評価委員会による見直し審議

平成29年度は委員会(1回)・部会(各3回)を開催し、世代ごとに取り組みを振り返り、現状や課題、今後の方向性について検討しました。

3 報告書の見方

集計した数値割合(%)は、小数第1位を四捨五入し表示しています。そのため、選択肢の数値割合(%)を全て合計しても100%にならないことがあります。

第2章 全体の評価および今後の取り組み

1 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組めなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
全世代	223	191	86%	31	14%	1	0%(0.4)	0	0%
すこやか親子	77	71	92%	6	8%	0	0%	0	0%
はつらつ成年	76	56	74%	20	26%	0	0%	0	0%
いきいき高齢者	70	64	91%	5	7%	1	1%	0	0%

2 数値目標について

1) 全世代を通じた大目標について（3つの基本目標に対する指標）

基準値 (23年度)	直近値 (28年度)	目標値 (34年度)	判定
---------------	---------------	---------------	----

基本目標1 子どもから高齢者までみんないきいき暮らすまち・やちよ

毎日を健やかに充実して暮らしていると思う市民の割合*	85%	84.3%	増加	C
----------------------------	-----	-------	----	---

基本目標2 みんなのいきいきを応援しあうまち・やちよ

地域の中に健康を支え合う関係があると思う市民の割合*	55.4%	50.9%	65%	D
----------------------------	-------	-------	-----	---

基本目標3 健康な暮らしの環境づくりをすすめるまち・やちよ

健康に暮らせる環境づくりをすすめているまちと思う市民の割合*	42.4%	39.8%	55%	C
--------------------------------	-------	-------	-----	---

*第2次プラン中間評価のためのアンケート調査における乳幼児保護者・小学生保護者・成人・高齢者の各調査結果の合算

2) 目標に対する達成度

※指標の詳細は資料2を参照

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
全世代	197	32	16%	34	17%	76	39%	46	23%	9	5%
全世代を通じた大目標	3	0	0%	0	0%	2	67%	1	33%	0	0%
すこやか親子	122	22	18%	22	18%	44	36%	31	25%	3	2%
はつらつ成年	37	5	14%	6	16%	18	49%	6	16%	2	5%
いきいき高齢者	35	5	14%	6	17%	12	34%	8	23%	4	11%

3 全世代の総括評価

行政・関係機関の取り組みについては8割以上の事業が計画通り実施し、計画通りではないが概ね実施した事業を含めると、ほとんどが目標に向けた取り組みを実施しました。

また、数値目標については目標に対して達成・改善傾向となった指標は3割を超え、横ばいが4割となり、第2次プラン前半期において一定の成果があったと考えます。

今後も健康的な生活習慣のために世代ごと健康づくりを進めると共に、地域全体で相互に支え合いながら、健康を守る環境づくりに努めてまいります。

第3章 世代ごとの評価および今後の取り組み

3-1 : すこやか親子世代

重点取り組み：親子のこころの健康を地域で支える健康づくりに取り組みます

【取り組みの方向性】

乳幼児期からのより良い家族関係を築くために、親の子どもへの接し方のスキルを高める新たな事業を検討します。また、地域で孤立することなく子育てするために、父親への支援を行うこと、地域住民・関係機関と一緒に地域の特性に合わせた「子育てしやすいまちづくり」を行うことを、地域ごとに実施している地域会議（地域情報交換会等）を中心に推進します。

1 世代全体の評価および今後について

【めざす姿1】 親がゆとりを持って、いきいきと子育てをしている

【めざす姿2】 親も子ども地域の中で育ちあう

【めざす姿3】 子どもが心身共に健やかに成長している

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組めなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
すこやか親子	77	71	92%	6	8%	0	0%	0	0%
めざす姿1	21	20	95%	1	5%	0	0%	0	0%
めざす姿2	18	16	89%	2	11%	0	0%	0	0%
めざす姿3	38	35	92%	3	8%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度

※指標の詳細は資料2を参照

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
すこやか親子	122	22	18%	22	18%	44	36%	31	25%	3	2%
めざす姿1	20	3	15%	3	15%	9	45%	5	25%	0	0%
めざす姿2	21	0	0%	0	0%	12	57%	9	43%	0	0%
めざす姿3	81	19	23%	19	23%	23	28%	17	21%	3	4%

3) すこやか親子世代の総括評価

すこやか親子部会では、「親子のこころの健康を地域で支える健康づくり」を重点取り組みとして、3つのめざす姿を推進してきました。取り組みの結果としては全事業の9割で計画通り実施することができ、数値目標は達成・改善傾向・横ばいが7割を占めています。

めざす姿1の親がゆとりを持って、いきいきと子育てをしていることを目指す取り組みの結果は、子どもと過ごす時間について毎日が楽しいとよく感じる親の割合は後退し、時には子どもを預け、趣味など自分の時間を持つことができていると思う乳幼児の親の割合や子育てをしている中で不安を感じている乳幼児の親の割合が横ばいでした。夫婦共に就労している世帯の割合が47.6%（平成27年度国勢調査）と半数近くが夫婦共働きである社会背景もあり、親がゆとりを感じる事が難しい状況が懸念されることから、こころの健康を保ち適切な養育となるよう、妊娠期からの切れ目のない支援により、子育ての悩みや不安を軽減していくことが必要であると考え、平成28年度から専門職が面接により母子健康手帳を交付する体制をつくりました。

めざす姿2の親も子ども地域の中で育ちあうことを目指す取り組みの結果は、父親が子育てをよくやっているや地域に見守られながら子育てをしていると感じている人ほど、子育てにゆとりがあると感じる割合が高い傾向があると出ています。父親の育児参加や地域の見守りが、育児の孤立化を防ぎ、親の心の健康や適切な育児のためには重要な要素であると考えられることから、地域住民と「子育てしやすいまちづくり」についての情報共有や話し合いを持つ「地域情報交換会」の開催や父親に向けた情報発信の工夫についての取り組みを行いました。

めざす姿3の子どもが心身共に健やかに成長していることを目指す取り組みの結果は、安心して子どもが遊べる環境だと思える親ほど、子どもの外遊びの頻度が高く、子どもが健やかに成長していると感じる傾向にあり、自己肯定感が高い子の割合や大切にしてくれる大人がいると感じている子の割合はほぼ横ばいです。子どもが心身共に健やかに成長するには、地域で子どもの安心、安全について見守られ、親のこころの健康が保たれ適切な養育ができることが重要と考えられます。

今後も親と子が健やかに暮らしていくために、妊娠期からの切れ目のない支援や地域での子育てに関する理解を高める取り組み、父親への子育てに関する情報発信への取り組みを継続して行っていきます

2 めざす姿ごとの評価および今後について

めざす姿

1

親がゆとりを持って、いきいきと子育てをしている

親が子どもと過ごす時を楽しみ、時には自分らしい時間を過ごすことで、ゆとりを持っていきいきとした子育てをすることをめざします。

【行動目標①】 親は子どもと過ごす時を楽しみます

【行動目標②】 親は自分らしい時間を過ごします

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
めざす姿1	21	20	95%	1	5%	0	0%	0	0%
行動目標①	13	13	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	8	7	88%	1	13%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度

※指標の詳細は資料2を参照

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
めざす姿1	20	3	15%	3	15%	9	45%	5	25%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	10	3	30%	1	10%	3	30%	3	30%	0	0%
行動目標②	9	0	0%	2	22%	5	56%	2	22%	0	0%

3) まとめ

これまでの取り組み状況としては、計画通り実施または概ね実施できました。

行動目標①の指標では、子どもと過ごす時間について毎日が楽しいとよく感じる親の割合は後退し、子育ての悩みや不安を感じている親の割合は横ばいでした。年齢別でみると2歳代が多く、内容別ではしつけや接し方に関することが6割以上でした。平成28年度より専門職が母子手帳の交付を全数面接で実施することとし、妊娠期から関わりを持つことにより、成長過程で生じる不安を解消できるよう、支援を行っています。また、1歳6か月児健康診査の満足度は目標達成できており、今後も医療機関と連携し、子どもの発達相談や、母の子育ての不安に対する相談など、養育支援について取り組んでいきます。

行動目標②の指標では、成人や高齢者は、母親が自分の時間を持つことが良いと思う人の割合が改善傾向となっており、地域で見守る世代の意識変化が確認できました。

その他、自分の時間を持つことができている人の割合や子育てをよくやってくれる父親の割合は横ばいでしたが、父親が育児をよくやってくれる人や地域に見守られながら子育てをしていると感じている人ほど、子育てにゆとりがあると感じる割合が高い傾向にありました。ゆとりを持っていきいきと子育てをするためには、父親の育児参加や地域の見守りが重要と確認できました。

上位指標である「ゆとりを持って子育てをしていると感じている乳幼児の親の割合」は横ばいでした。今後も親の育児不安を少しでも解消できるように、妊娠期からの専門職による切れ目のない支援を行い、父親の育児参加や地域の見守る体制づくりへの取り組みを引き続き実施していきます。

地域の人とのつながりの中で、見守られたり、自分の役割を持ったりすることにより、親も子ども安心して共に成長していくことをめざします。

【行動目標①】 地域の中で安心して子育てします

【行動目標②】 親は子育ての経験を地域の中で発揮します

【行動目標③】 父親も子育てを通して地域で交流を持ち家族や仲間と子育てを楽しみます

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組めなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
めざす姿 2	18	16	89%	2	11%	0	0%	0	0%
行動目標①	6	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	3	3	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標③	9	7	78%	2	22%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度

※指標の詳細は資料2を参照

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
めざす姿 2	21	0	0%	0	0%	12	57%	9	43%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	10	0	0%	0	0%	7	70%	3	30%	0	0%
行動目標②	6	0	0%	0	0%	2	33%	4	67%	0	0%
行動目標③	4	0	0%	0	0%	2	50%	2	50%	0	0%

3) まとめ

これまでの取り組み状況としては、計画通り実施または概ね実施できました。

行動目標①の指標で、地域の人に見守られて安心して子育てができていると思う親の割合や、子育て中の人に声かけや相談にのったことがある人の割合は横ばいでしたが、子育てについて相談したり頼れる近所の人がいる乳幼児の親の割合は後退しています。背景としては、転出入や出産前まで就労していることなどが考えられ、地域の人との交流が図れる取り組みや情報発信は引き続き必要と考えます。

行動目標③の指標では、父親向け事業への参加数は後退しましたが、父親が子育てを楽しんでいると思う親の割合は横ばいでした。父親が母親と一緒に子育てを担い、夫婦で子育てしている意識を持つことが、地域の中で育ち合うきっかけとなると考え、実際に育児する父親の声をまとめ、父親に向けた情報発信に取り組む予定です。

上位指標である「子育てをしていることで、自分は成長していると感じる乳幼児の親の割合」は横ばいで推移しています。今後もこれまでの取り組みを継続しながら、地域の人とのつながりが得られるように、より身近な地域の情報を発信する取り組みを考えていきます。

予防接種や健診などを通して子どもの安全を保障するとともに、遊びや食育、思春期の生と性についての取り組みを充実させることで、子どもの心身の健やかな成長をめざします。

- 【行動目標①】 遊びを通じて子どものしなやかな身体，豊かなところを育てます
- 【行動目標②】 食を通じて子どもの社会性と食の自己管理能力を身につけ，しなやかな身体，豊かなところを育てます
- 【行動目標③】 思春期の子は自分や他者を大切に，生と性の課題について適切に対処します
- 【行動目標④】 親は子どもの安全を保障し，健やかな成長発達を促します

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
めざす姿3	38	35	92%	3	8%	0	0%	0	0%
行動目標①	8	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	12	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
行動目標③	6	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標④	12	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度

※指標の詳細は資料2を参照

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
めざす姿3	81	19	23%	19	23%	23	28%	17	21%	3	4%
上位指標	4	0	0%	0	0%	4	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	9	0	0%	3	33%	2	22%	4	44%	0	0%
行動目標②	23	7	30%	2	9%	9	39%	5	22%	0	0%
行動目標③	22	3	14%	6	27%	6	27%	7	32%	0	0%
行動目標④	23	9	39%	8	35%	2	9%	1	4%	3	13%

3) まとめ

これまでの取り組み状況としては、計画通り実施または概ね実施できました。

行動目標①の指標で、週3日以上外遊びをしている小学生の割合は後退しており、学年が上がるにつれて減少する傾向がみられました。習い事や学習塾の利用、ソーシャルネットワークの利用拡大で、体を動かす機会が少なくなっている社会背景の中、パソコンやゲームなどの利用時間に制限を設けている親の割合は増加しており、子どもの成長への影響が意識されるようになった結果と考えられます。

安心して子どもが遊べる環境だと思える親ほど、子どもの外遊びの頻度が高く、外遊びが多いほど子どもが健やかに成長していると感じる傾向にあり、地域で見守られながら活発に遊ぶことの必要性を確認しました。

行動目標②の指標では、全小学校への農業生産者の訪問体制の構築をやちよ食育ネットワーク協議会で取り組み、平成23年度は5校のところ、平成28年度では22校すべてに実施しており、目標達成ができました。

行動目標③の指標では、避妊法や性感染症の全問正解の割合、中学生のやせの割合は後退しましたが、喫煙や飲酒経験については改善傾向でした。自己肯定感が高い子どもの割合は小学生で後退、中学生で改善傾向が見られました。

今後も八千代市思春期保健ネットワーク会議による取り組みなど、医療・教育などの関係機関と連携を図り、子どもや保護者へ知識や情報の伝達を行っていきます。

行動目標④の指標では、ほとんどが目標達成または、改善傾向でした。麻しん風しん混合予防接種第1期接種率は目標達成し、定期歯科健康診査の受診や事故防止の取り組みは改善傾向でした。麻しん風しん混合予防接種第2期接種率は後退したため、接種率向上に向けての検討が必要と考えます。

これらの上位指標である「毎日を元気に楽しく暮らしていると思う子の割合」と「子どもが心身共に健やかに発育・発達していると感じる親の割合」は横ばいでした。今後も子どもたちの心と体の健やかな成長につながるように、これまでの取り組みを継続しながら、予防接種の推進や安全対策などにおいて普及啓発に努めます。

3-2 : はつらつ成年世代

重点取り組み：健康づくりを地域みんなで取り組みます

【取り組みの方向性】

食を通じた健康づくりの取り組みは、多くの方が外食・中食*を利用している現状を踏まえ、野菜がたっぷり食べられるような健康に配慮したメニューの提供の推進、飲食店等での食を通じた健康情報の発信を行います。たばこ対策の取り組みは、職場や飲食店、公共施設などにおける禁煙・分煙に向けた環境づくりを推進します。

情報発信については、発信手段だけではなく、内容も工夫し関心を持ってもらえるように検討します。この世代は、学校や職場に属する人も多いため、大学や職域*への働きかけも検討し、より多くの人に働きかけるように努めます。

* 中食： 家庭外で調理された食品を購入して、家庭の食卓で食べること

* 職域： 職業や職務の範囲、職場

1 世代全体の評価および今後について

【めざす姿1】 地域とのつながりを保ちながら、心身ともに支障がなく、自分らしい生活ができる

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
はつらつ成年	76	56	74%	20	26%	0	0%	0	0%
めざす姿1									

2) 数値目標について：目標に対する達成度

※指標の詳細は資料2を参照

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
はつらつ成年	37	5	14%	6	16%	18	49%	6	16%	2	5%
めざす姿1											

3) はつらっ成年世代の総括評価

これまでの取り組みは、ほぼ計画通り実施できました。目標に対する達成度は、一部後退した指標もありますが8割は達成・改善傾向・横ばいとなりました。以上のことより、5年間で一定の成果があったと考えます。

重点取り組みである外食時における野菜たっぷりメニューの拡大・周知の取り組みでは、市主催の「野菜たっぷりメニューコンテスト」を3回開催しました。その結果、認定メニューは28店舗40メニューと広がっただけでなく、飲食店主催のイベント「八千代カレー」への参画につながりました。今後は、「野菜たっぷり認定メニュー」推進事業を創設し、これまでの取り組みで構築した飲食店との関係を保ちながら、引き続き野菜をたっぷり食べることに関心を持ち、実践につながる機会の提供に努めます。

たばこ対策の取り組みについては、新たな喫煙者をつくらないための喫煙防止教育のほか、禁煙したい人に向けて禁煙支援医療機関などの情報提供を行いました。禁煙・分煙に向けた環境づくり（受動喫煙防止対策）の推進については、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて法改正を含む動きが活発になっていることから、国・県・近隣市の動向を注視し、本市の受動喫煙防止対策のあり方について検討していきます。

情報発信については、平成27年度より配信を開始した「やちよ健康情報メール」にて広報やホームページに頼らないタイムリーな情報発信に努めてきました。配信から2年が経過し、登録者は平成30年1月末現在3,497人です。今後も、登録者の拡大や配信内容の充実にも努めるほか、日々進化する情報発信のツールをうまく活用しながら健康を意識しなくても健康づくりを享受できる環境づくりが醸成されるよう各々の取り組みを進めます。

2 めざす姿ごとの評価および今後について

めざす姿

1

地域とのつながりを保ちながら、心身ともに支障がなく、
自分らしい生活ができる

健康に配慮した生活習慣を身につけ、心身の健康を保ち、地域との
つながりを大切にして自分らしく生活することをめざします。

- 【行動目標①】 健康に配慮し、楽しく食べます
- 【行動目標②】 こころの健康を保ちます
- 【行動目標③】 気軽に体を動かす習慣を身につけます
- 【行動目標④】 生活の中からたばこの煙を減らします
- 【行動目標⑤】 歯と口腔の状態に不安をかかえることなく、おいしく食べます
- 【行動目標⑥】 休肝日をつくり、お酒と上手につきあいます
- 【行動目標⑦】 生活習慣病の早期発見・早期治療、生活の見直しに努めます
- 【行動目標⑧】 地域の情報を得て、地域への関心を持ちます

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組めなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
はつらつ成年 (めざす姿1)	76	56	74%	20	26%	0	0%	0	0%
行動目標① 【食生活】	9	5	56%	4	44%	0	0%	0	0%
行動目標② 【こころ】	11	6	55%	5	45%	0	0%	0	0%
行動目標③ 【運動】	20	18	90%	2	10%	0	0%	0	0%
行動目標④ 【たばこ】	8	3	38%	5	63%	0	0%	0	0%
行動目標⑤ 【歯と口腔】	7	6	86%	1	14%	0	0%	0	0%
行動目標⑥ 【お酒】	7	5	71%	2	29%	0	0%	0	0%
行動目標⑦ 【健(検)診】	9	8	89%	1	11%	0	0%	0	0%
行動目標⑧ 【地域】	5	5	100%	0	0%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度

※指標の詳細は資料2を参照

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
はつらつ成年 (めざす姿1)	37	5	14%	6	16%	18	49%	6	16%	2	5%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標① 【食生活】	9	2	22%	1	11%	5	56%	0	0%	1	11%
行動目標② 【こころ】	2	0	0%	0	0%	1	50%	1	50%	0	0%
行動目標③ 【運動】	6	0	0%	1	17%	4	67%	1	17%	0	0%
行動目標④ 【たばこ】	7	0	0%	2	29%	4	57%	1	14%	0	0%
行動目標⑤ 【歯と口腔】	4	2	50%	0	0%	1	25%	1	25%	0	0%
行動目標⑥ 【お酒】	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標⑦ 【健(検)診】	4	1	25%	1	25%	1	25%	1	25%	0	0%
行動目標⑧ 【地域】	3	0	0%	1	33%	0	0%	1	33%	1	33%

3) まとめ

はつらつ成年世代は、
めざす姿が1つのため、13頁の「3) はつらつ成年世代の総括評価」を参照。

3-3 : いきいき高齢者世代

重点取り組み：運動をきっかけとした住民主体の健康づくりに取り組みます

【取り組みの方向性】

身近な地域で住民同士が楽しみながら運動を続けられるように、やちよ元気体操の普及と地域に根付いた住民主体の健康づくりを推進する人材（やちよ元気体操応援隊）の養成とその自主活動を支援します。

また、運動をきっかけに健康づくりへの関心が高まるように、運動の効果や、やちよ元気体操等の気軽にできる運動の情報提供を行うとともに、低栄養や認知症予防等に関わる食生活や歯と口腔の健康づくりについても普及啓発に努めます。

運動をきっかけに、住民同士のつながりや地域活動への参加が促進されるように、本部会のめざす姿「1 生きがいづくり」「2 身近な地域でのふれあい」「3 心身機能の維持」を三位一体で推進します。

1 世代全体の評価および今後について

【めざす姿1】 生きがいを持って、いきいき過ごしている

【めざす姿2】 身近な場所でのふれあいを楽しんでいる

【めざす姿3】 心身機能を保ち、認知症、ロコモティブ症候群*、低栄養など老年症候群を予防する

* ロコモティブ症候群： 骨や関節、筋肉などの運動器の障がいのために、介護が必要となる危険性の高い状態

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
いきいき高齢者	70	64	91%	5	7%	1	1%	0	0%
めざす姿1	13	12	92%	1	8%	0	0%	0	0%
めざす姿2	13	12	92%	0	0%	1	8%	0	0%
めざす姿3	44	40	91%	4	9%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度

※指標の詳細は資料2を参照

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
いきいき高齢者	35	5	14%	6	17%	12	34%	8	23%	4	11%
めざす姿1	6	0	0%	1	17%	2	33%	3	50%	0	0%
めざす姿2	10	1	10%	1	10%	6	60%	2	20%	0	0%
めざす姿3	19	4	21%	4	21%	4	21%	3	16%	4	21%

3) いきいき高齢者世代の総括評価

これまでの取り組み状況としては、計画通り実施した事業が9割でした。

数値目標については、目標に対して後退した指標が2割ありましたが、達成・改善傾向・横ばいとなった指標は6割半ばとなり、一定の成果があったと考えます。

特に、重点取り組みである「運動をきっかけとした住民主体の健康づくり」においては、やちよ元気体操の普及啓発や、やちよ元気体操応援隊の養成とその活動支援を中心に取り組み、住民同士のつながりや地域活動への参加に努めた結果、大きな進展があったと考えます。やちよ元気体操を知っている高齢者の割合は51.5%となり、平成23年調査と比べて18.7ポイント増加し、やちよ元気体操の認知度は着実に上がっています。また、やちよ元気体操応援隊による体操グループ数は65グループとなり目標値(35グループ)を大きく上回り、参加者数も約2,000人となりました。

平成28年度には厚生労働省主催の第5回健康寿命をのばそう！アワードにおいて「優良賞」を受賞し、健康寿命の延伸に資する優れた取り組みとして評価されました。

また、平成28年度から介護予防サロンに対する支援が始まり、高齢者が気軽に集える場を増やしていくよう努めます。このような取り組みと合わせて、今後も重点取り組みである「運動をきっかけとした住民主体の健康づくり」を進めながら、めざす姿「1 生きがいつくり」「2 身近な地域でのふれあい」「3 心身機能の維持」を三位一体で推進します。

2 めざす姿ごとの評価および今後について

めざす姿

1

生きがいを持って、いきいき過ごしている

いくつになっても、趣味や社会的な役割を持ち、積極的に地域活動*に参加し、生きがいのある毎を送ることをめざします。

*地域活動：家から離れて他者と協働して行う社会参加（就労，ボランティア，生涯学習，趣味など）の活動を示す。

【行動目標①】 趣味などを楽しんだり、何らかの地域活動を通じて、自らの力を発揮します

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
めざす姿 1	13	12	92%	1	8%	0	0%	0	0%
行動目標①									

2) 数値目標について：目標に対する達成度

※指標の詳細は資料2を参照

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
めざす姿 1	6	0	0%	1	17%	2	33%	3	50%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	5	0	0%	1	20%	1	20%	3	60%	0	0%

3) まとめ

これまでの取り組みとしては、地域活動への参加を促す講座の開催、高齢者の特技や経験を活かすシルバー人材センターなどの運営、地域活動を行う団体への支援を行いました。平成26年度には「やちよ地域活動メニュー」の作成と配布を行い地域活動への参加を促しました。

数値目標は、生涯学習情報が得られやすいと感じている高齢者の割合が改善傾向を示し、それ以外の指標は横ばいまたは後退という結果でした。指標間の関連では、生きがいと団体活動やイベントへの参加状況には有意な関連が認められ、生きがいづくりのために地域活動への参加を促していく必要があることを確認しました。

今後もより多くの高齢者が地域活動に参加できるように内容の充実をめめます。また、地域活動情報をより多くの高齢者に届けられるように、インターネットを活用した方法と並行して、それを利用しない高齢者にも情報が届くよう工夫します。

身近な場所でのふれあいを楽しんでいる

いつまでも住み慣れたまちで、家族や友人・子どもたちとの交流を楽しむことをめざします。

【行動目標①】 近所の人（子どもを含む）と楽しい時間を過ごします

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組めなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
めざす姿2	13	12	92%	0	0%	1	8%	0	0%
行動目標①									

2) 数値目標について：目標に対する達成度

※指標の詳細は資料2を参照

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
めざす姿2	10	1	10%	1	10%	6	60%	2	20%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標②	9	1	11%	1	11%	5	56%	2	22%	0	0%

3) まとめ

これまでの取り組みとしては、住民同士の交流を促進するため、やちよ元気体操応援隊による体操グループや介護予防サロンの活動支援、世代間交流事業などを行いました。平成28年度には世代間交流を目的とした「やちよ元気体操ふれあい編」を作成、平成29年度には介護予防サロンなどの高齢者が気軽に集える場を掲載した「ふれあいマップ（市全域の地図）」を作成し周知しています。また、高齢者が安心して外出するために、道路などのバリアフリー化と合わせて、福祉教育を通じたところのバリアフリー化にも努めてきました。

数値目標は、上位指標を含む6割の指標が横ばいで推移しています。指標間の関連では、近所の人との付き合い方や近所の子どもの挨拶や会話の有無、身近な場所で気軽に集える場の有無は、いずれも主観的健康感（自分が感じている健康状態）との有意な関連が認められ、高齢者の健康づくりのために地域交流が必要であることを改めて確認できました。

今後もこれまでの取り組みを継続しながら、特に住民同士の交流機会を増やすため、やちよ元気体操応援隊による体操グループや介護予防サロンの増加に努めます。また「ふれあいマップ」は圏域ごとの作成を検討しており、身近な地域の情報をより分かりやすく提供していく予定です。

心身機能を保ち、認知症、ロコモティブ症候群、 低栄養など老年症候群を予防する

高齢者の心身機能の低下を緩やかにするため、運動・食生活・歯と口腔・休養に関する生活習慣を見直し、認知症やロコモティブ症候群、低栄養などの予防に努めます。

- 【行動目標①】 気軽に楽しく運動を続けます
- 【行動目標②】 食を楽しみ、低栄養の予防に努めます
- 【行動目標③】 歯と口腔の健康を保ち、おいしく食べます
- 【行動目標④】 ストレスと上手につきあい、1人で悩まず誰かに相談します

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組めなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
めざす姿3	44	40	91%	4	9%	0	0%	0	0%
行動目標① 【運動】	19	19	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標② 【食生活】	5	4	80%	1	20%	0	0%	0	0%
行動目標③ 【歯と口腔】	8	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標④ 【こころ】	12	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度

※指標の詳細は資料2を参照

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
めざす姿3	19	4	21%	4	21%	4	21%	3	16%	4	21%
上位指標	1	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標① 【運動】	3	1	33%	0	0%	1	33%	1	33%	0	0%
行動目標② 【食生活】	7	1	14%	1	14%	2	29%	0	0%	3	43%
行動目標③ 【歯と口腔】	5	0	0%	3	60%	0	0%	1	20%	1	20%
行動目標④ 【こころ】	3	1	33%	0	0%	1	33%	1	33%	0	0%

3) まとめ

これまでの取り組みとしては、心身機能を保ち、認知症やロコモティブ症候群などを予防することを目的に行動目標①～④に関する講座の開催や様々な機会での情報提供を行いました。また、個別相談にも応じ、実践につながるように支援しました。

行動目標①については、運動をきっかけとした住民主体の健康づくりが大きく進展し、やちよ元気体操応援隊による体操グループが毎年10以上発足するペースで増えています。

行動目標②については、平成29年度に市民主体の食を通じた健康づくりの推進に着手し、男性の地域活動の促進を兼ねた「男の料理塾」を開催しました。講座終了後は参加者が協力しあって健康に配慮した男性の料理グループを発足し、市民主体の健康づくり活動として続いています。

数値目標は、達成・改善傾向・横ばいとなった指標が6割以上ありました。

今後もより多くの高齢者が健康によい生活習慣を身につけられるよう行動目標①～④に関する普及啓発に努めます。

また、行動目標①と②については住民同士で協力しながら、健康によい生活習慣を身につけられるよう人材の育成とその活動支援に引き続き取り組みます。

第4章 八千代市食育推進計画の目標と取り組み

八千代市では、国の第2次食育推進基本計画と県の第2次千葉県食育推進計画を踏まえ、本プランに八千代市食育推進計画を位置づけ、市民一人ひとりが食生活について関心を持ち、健康的で楽しい食事を心がけることができるように、各ライフステージに合わせた間断のない食育の推進を図ります。

①生涯にわたるライフステージに応じた食に関する情報提供

ライフステージに応じた食に関する知識が得られるように、各種事業や学校を通し情報の提供を行うとともに、広報やちよ、ホームページなどを通じて広く市民に周知を図ります。また、望ましい食習慣を身につけ、食の楽しさを実感できるように、家族や友人などとの共食の大切さを伝えます。

②食に関するさまざまな経験をする機会の提供

食を通じて豊かなこころと健康な身体づくりができるように、子どもの頃から農業体験や農業生産者と関わりのある食育の機会を提供します。また、イベントや講座を通じて家族と一緒に料理をつくることや健康に配慮した食事づくりをして、楽しく食べることなどについて知る機会を提供します。

学校・公民館などの関係機関や地域においても食育を進め、子どもから高齢者までライフステージに合わせたさまざまな食に関する経験の機会を提供します。

③関連機関との連携を通じた推進

学齢期における食育の取り組みに関しては、ちよ食育ネットワーク協議会において活動を協議し、関係機関と連携のもと実施します。

学齢期以外のライフステージにおいても男女共同参画センター等の関係機関と連携し、推進します。

④食環境の整備

飲食店や農産物直売所等と連携し、旬の野菜メニューや健康に関する情報提供を行います。また、健康に配慮したメニューなどの提供についても連携し、推進します。

⑤八千代市食育推進計画指標一覧

八千代市食育推進計画は、国の第2次食育推進基本計画・第2次千葉県食育推進計画を参考に、下記の指標を設定し、食育の推進を図ります。

世代	<目 標>	基準値 (平成23年度)	直近値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	判定	注1
すいせいか親子	自己肯定感が高い子の割合 (「私はやればできる・自分のことが好き」共に肯定)	小学生 55.2% 中学生 39.3%	小学生 51.8% 中学生 44.9%	小学生 70% 中学生 60%	D B	
	小中学生の肥満の割合 (ローレル指数)	小学生 9.8% 中学生 10.8%	10.8%(27年度) 8.7%(27年度)	7%以下	D B	
	小中学生のやせの割合 (ローレル指数)	小学生 23.8% 中学生 33.2%	23.3%(27年度) 37.8%(27年度)	減少	A D	
	朝食または夕食を家族と一緒に食べる頻度(家族との共食頻度)	小学生 10.5回/週 中学生 10.3回/週	10.3回/週 10.5回/週	現状維持	A A	★
	家族と食事をするのが楽しい小学生の割合	92.1%	87.9%	現状維持	D	
	からだによい食べ物や栄養バランスのよい食事に興味がある子の割合	小学生 68.0% 中学生 58.7%	小学生 74.9% 中学生 65.1%	小学生 80% 中学生 70%	C C	◎
	子どもと一緒に月2回以上食事づくりをする小学生の親の割合	26.2%	22.6%	40%	C	
	料理をすることに興味がある子の割合	小学生 75.7% 中学生 70.6%	小学生 76.7% 中学生 70%	小学生 80% 中学生 75%	C D	
	小学生がつくれるような料理を知っている小学生の親の割合	89.1%	84.8%	現状維持	C	
	農業体験を実施している学校数	小学校 23校中 14校 中学校 11校中 10校	小学校 22校中 11校 中学校 11校中 8校	小学校増加 中学校現状維持	D D	◎ ○
	農業生産者と関わりのある食育を実施している小学校数	小学校 5校	小学校 22校	小学校全校	A	
	農業を体験することに興味のある子の割合	小学生 64.3% 中学生 39.9%	小学生 60% 中学生 40.4%	小学生 70% 中学生 45%	C D	◎ ○
	学校給食における地場産物を使用する割合(県内産)	32.4%	36%	現状維持	A	★
	はすつらつか親子	朝食の欠食率	小学5年生 1.6% 中学2年生 4.7%	1.0% 3.1%	現状維持	A A
18~20歳代男性 36.1%			27.5%		C	
30歳代男性 24.4%			30.4%	男女とも 15%以下	C	
18~20歳代女性 22.2%			19.6%		C	
30歳代女性 16.2%			7.4%		C	
はつらつ成年	適正体重を保っている人の割合	67.9%	69.1%	75%以上	B	
	健康のために、栄養のバランス(主食・主菜・副菜)を考えて食べることを重視している人の割合	52.8%	43.2%	75%以上	E	★
	健康に配慮したメニューや栄養成分表示などがあるお店が増えていると思う人の割合	63.2%	67.5%	75%以上	C	
	健康ちば協力店など食の健康に取り組む店舗数	健康ちば協力店登録数 33店舗	健康ちば協力店登録数 36店舗 野菜たっぷりヘルシーメニュー登録店舗数 28店舗	増加	A A	

世代	<目 標>	基準値 (平成 23 年度)	直近値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 34 年度)	判定	注1
いきいき高齢者	低栄養傾向(BMI 20 以下)の高齢者の割合	19.3%	18.7%	減少	A	
	日頃の食生活で健康のための取り組みとして、毎日3食食べている高齢者の割合	74.6%	指標削除	85%以上	E	
	日頃の食生活で健康のための取り組みとして、栄養のバランス(主食・主菜・副菜)を考えて食べる高齢者の割合	72.6%	77.4%	増加	E	★
	外食・中食をする時に、健康のために野菜が多いメニューや野菜料理を一品プラスして選ぶ高齢者の割合	32%	36.3%	40%以上	B	○
	食生活について気になることがある時、相談先がわからない高齢者の割合	3.6%	3.6%	減少	C	
	食生活について気になることがある時、相談しない高齢者の割合	19.4%	19%	15%以下	C	
	家族や友人と一緒に食事をしている高齢者の割合	83.8%	68.1%	増加	E	

*注1：★…国の第2次食育推進基本計画における『食育の推進の目標に関する事項』の指標と同様の指標
◎…国の第2次食育推進基本計画における『食育の推進の目標に関する事項』の関連指標
○…県の第2次千葉県食育推進計画関連指標

第5章 八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例に関わる目標と取り組み

八千代市では平成24年6月に「八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例」を制定しました。その第6条で基本的施策を規定しています。それに基づき、歯と口腔の健康づくりの知識や歯科疾患予防に関する普及啓発、定期的な予防管理の推進、関係機関・団体等との連携・協力体制の確立に取り組めます。

①歯と口腔の健康づくりに関する知識や予防に関する情報提供

市民が正しい知識を持って自ら行動できるように、市は歯と口腔の健康づくりに関する知識や歯科疾患の予防に関する情報を提供します。

講座や歯科健康診査の機会や、広報やちよ等を通し、広く市民に歯と口腔の健康づくりに関する知識や情報を提供します。

②定期的な予防管理の推進

身近な地域で、かかりつけ歯科医による定期的な予防管理が定着することを推進します。歯科健康診査を実施し、受診を促すとともに、定期受診の大切さを伝えます。

③関係機関・団体等との連携・協力体制の確立

全ライフステージを対象とした、生涯を通じて歯科保健を推進評価する会議体として「八千代市歯と口腔の健康づくり推進会議」を新たに設置し、ライフステージごとのむし歯や歯周病の有病状況などの歯科保健情報を収集し、分析していく体制を整備します。

④八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例第6条基本的施策関連指標

国（歯科口腔保健の推進に関する基本的事項）や千葉県（千葉県歯・口腔保健計画）で掲げられている目標との整合性を図りながら、むし歯・歯周病予防等をめざして下記の指標を設定し、歯と口腔の健康づくりの推進を図ります。

世代	<目 標>	基準値 (平成 23 年度)	直近値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 34 年度)	判定
すこやか親子	3歳児におけるむし歯のない人の割合	76.1%	82.5%	80%	A
	12歳児におけるむし歯のない人の割合	56.3%	68.8%	65%	A
	12歳児における1人平均むし歯数(DMF歯数)	0.95 歯	0.5 歯	0.5 歯	A
	フッ素配合歯みがき剤を使っている(小学生親は子どもに使わせている)人の割合	小学生親 52.9%	小学生親 55.0%	小学生親 80%	B
		中学生 42.0%	中学生 47.5%	中学生 80%	B
	1歳6か月児平成 24 年度 60.7% (参考値)	1歳6か月児 75.7%	1歳6か月児 70%	A	
定期的に歯科健診を受けている人(小学生親は子どもに受けさせている)の割合(学校歯科健診以外にも受けている割合)	小学生親 52.7% 中学生 20.6%	小学生親 58.6% 中学生 24.7%	小学生親 65% 中学生 30%	B B	
はじらじ成年	60歳で24本以上自分の歯を有する人の割合	83.3%	68.8%	90%以上	D
	自分の歯でおいしく食事ができると思う人の割合	94.4%	94.8%	増加	A
	定期的に(1年に1回以上)歯科医院で歯科健診を受けている人の割合(18歳~64歳)	36.1%	39.4%	60%以上	C
	ふだん、歯や口の健康のために、取り組んでいることがない人の割合	23%	17.2%	減少	A
くらしや高齢者	食事に支障なく噛める高齢者の割合	57.1%	84.3%	70%以上	E
	80歳で20本以上自分の歯を有する人の割合	75.1%	69.4%	増加	D
	定期的に(1年に1回以上)歯科医院で歯科健診を受けている高齢者の割合(65歳以上)	50.4%	60.9%	65%以上	B
	日に2回は時間をかけて、ていねいに歯みがきをする高齢者の割合	40%	42.1%	50%以上	B
	舌の体操やだ液が出やすくなるマッサージを行っている高齢者の割合	5.1%	7.8%	20%以上	B

資料1 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

平成29年度 八千代市第2次健康まちづくりプランに基づく事業の進捗状況調査より

	事業数	4年間(平成25～28年度)の総評							
		1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組めなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
全世代	223	191	86%	31	14%	1	0%(0.4)	0	0%
すこやか親子	77	71	92%	6	8%	0	0%	0	0%
めざす姿1	21	20	95%	1	5%	0	0%	0	0%
行動目標①	13	13	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	8	7	88%	1	13%	0	0%	0	0%
めざす姿2	18	16	89%	2	11%	0	0%	0	0%
行動目標①	6	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	3	3	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標③	9	7	78%	2	22%	0	0%	0	0%
めざす姿3	38	35	92%	3	8%	0	0%	0	0%
行動目標①	8	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	12	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
行動目標③	6	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標④	12	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%
はつらつ成年	76	56	74%	20	26%	0	0%	0	0%
めざす姿1	76	56	74%	20	26%	0	0%	0	0%
行動目標①	9	5	56%	4	44%	0	0%	0	0%
行動目標②	11	6	55%	5	45%	0	0%	0	0%
行動目標③	20	18	90%	2	10%	0	0%	0	0%
行動目標④	8	3	38%	5	63%	0	0%	0	0%
行動目標⑤	7	6	86%	1	14%	0	0%	0	0%
行動目標⑥	7	5	71%	2	29%	0	0%	0	0%
行動目標⑦	9	8	89%	1	11%	0	0%	0	0%
行動目標⑧	5	5	100%	0	0%	0	0%	0	0%
いきいき高齢者	70	64	91%	5	7%	1	1%	0	0%
めざす姿1	13	12	92%	1	8%	0	0%	0	0%
行動目標①	13	12	92%	0	0%	1	8%	0	0%
めざす姿2	13	12	92%	0	0%	1	8%	0	0%
行動目標①	13	12	92%	0	0%	1	8%	0	0%
めざす姿3	44	40	91%	4	9%	0	0%	0	0%
行動目標①	19	19	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	5	4	80%	1	20%	0	0%	0	0%
行動目標③	8	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標④	12	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%

資料2 数値目標について：目標に対する達成度

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
全世代	197	32	16%	34	17%	76	39%	46	23%	9	5%
全世代通じた大目標	3	0	0%	0	0%	2	67%	1	33%	0	0%
すこやか親子	122	22	18%	22	18%	44	36%	31	25%	3	2%
めざす姿1	20	3	15%	3	15%	9	45%	5	25%	0	0%
上位指標	1	0	0%		0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	10	3	30%	1	10%	3	30%	3	30%	0	0%
行動目標②	9	0	0%	2	22%	5	56%	2	22%	0	0%
めざす姿2	21	0	0%	0	0%	12	57%	9	43%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	10	0	0%	0	0%	7	70%	3	30%	0	0%
行動目標②	6	0	0%	0	0%	2	33%	4	67%	0	0%
行動目標③	4	0	0%	0	0%	2	50%	2	50%	0	0%
めざす姿3	81	19	23%	19	23%	23	28%	17	21%	3	4%
上位指標	4	0	0%	0	0%	4	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	9	0	0%	3	33%	2	22%	4	44%	0	0%
行動目標②	23	7	30%	2	9%	9	39%	5	22%	0	0%
行動目標③	22	3	14%	6	27%	6	27%	7	32%	0	0%
行動目標④	23	9	39%	8	35%	2	9%	1	4%	3	13%
はつらつ成年	37	5	14%	6	16%	18	49%	6	16%	2	5%
めざす姿1	37	5	14%	6	16%	18	49%	6	16%	2	5%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	9	2	22%	1	11%	5	56%	0	0%	1	11%
行動目標②	2	0	0%	0	0%	1	50%	1	50%	0	0%
行動目標③	6	0	0%	1	17%	4	67%	1	17%	0	0%
行動目標④	7	0	0%	2	29%	4	57%	1	14%	0	0%
行動目標⑤	4	2	50%	0	0%	1	25%	1	25%	0	0%
行動目標⑥	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標⑦	4	1	25%	1	25%	1	25%	1	25%	0	0%
行動目標⑧	3	0	0%	1	33%	0	0%	1	33%	1	33%
いきいき高齢者	35	5	14%	6	17%	12	34%	8	23%	4	11%
めざす姿1	6	0	0%	1	17%	2	33%	3	50%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	5	0	0%	1	20%	1	20%	3	60%	0	0%
めざす姿2	10	1	10%	1	10%	6	60%	2	20%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標②	9	1	11%	1	11%	5	56%	2	22%	0	0%
めざす姿3	19	4	21%	4	21%	4	21%	3	16%	4	21%
上位指標	1	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標①	3	1	33%	0	0%	1	33%	1	33%	0	0%
行動目標②	7	1	14%	1	14%	2	29%	0	0%	3	43%
行動目標③	5	0	0%	3	60%	0	0%	1	20%	1	20%
行動目標④	3	1	33%	0	0%	1	33%	1	33%	0	0%

資料3【すこやか親子世代】

八千代市第2次健康まちづくりプラン 指標数値の比較一覧

【判定区分と判定基準】

- A (達成) : 直近値が目標値を既に達成している
- B (改善傾向) : 直近値が目標値に達していないが、基準値と比較すると改善している
- C (横ばい) : 直近値が基準値に比べ、変わらない
- D (後退) : 直近値が基準値に比べ、悪化している
- E (判定不能) : 調査内容の違いなどにより判定ができない

※☆印がある指標は検定を行った。基準値と直近値に有意な増減があった場合には判定が「B」か「D」、有意な差が認められない場合には「C」となる。☆印がない指標は1ポイント未満の増減は「C」、1ポイント以上の増減で目標値に達していない場合は「B」か「D」となる。

基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆
-----------------	----	-----------------	----	-----------------	----	----------

基本目標1 子どもから高齢者までみんないきいき暮らすまち・やちよ

毎日を健やかに充実して暮らしていると思う市民の割合	乳幼児親 87.6% 小学生親 86.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	乳幼児親 86.5% 小学生親 86.5%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問1 小保 問1	増加	C	☆
---------------------------	--------------------------	----------------------	--------------------------	----------------------	----------------	----	---	---

基本目標2 みんなのいきいきを応援しあうまち・やちよ

地域の中に健康を支え合う関係があると思う市民の割合	乳幼児親 62.2% 小学生親 63.4%	第2次プラン調査 (平成23年度)	乳幼児親 56.5% 小学生親 60.4%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問2 小保 問2	増加	C	☆
---------------------------	--------------------------	----------------------	--------------------------	----------------------	----------------	----	---	---

基本目標3 健康な暮らしの環境づくりをすすめるまち・やちよ

健康に暮らせる環境づくりをすすめているまちと思う市民の割合	乳幼児親 44.3% 小学生親 44.1%	第2次プラン調査 (平成23年度)	乳幼児親 40.2% 小学生親 47.1%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問3 小保 問3	増加	C	☆
-------------------------------	--------------------------	----------------------	--------------------------	----------------------	----------------	----	---	---

めざす姿1	親がゆとりを持って、いきいきと子育てをしている	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	
上位指標	ゆとりを持って子育てしていると感じている乳幼児の親の割合	62.9%	第2次プラン調査 (平成23年度)	56.8%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問4	75%	C	☆
行動目標① 親は子どもと過ごす 時を楽しみます	子どもと過ごす毎日楽しいと感じている乳幼児の親の割合	71.8%	〃	63.6%	〃	乳保 問5	75%	D	☆
	子育てをしている中で不安を感じている乳幼児の親の割合	67.2%	〃	70.9%	〃	乳保 問6	55%以下	C	☆
	子どもの年齢に合った接し方ができていると感じる親の割合	乳幼児親 85.3% 小学生親 88.2%	〃	乳幼児親 83.8% 小学生親 87%	〃	乳保 問8 小保 問4	増加	C	☆
	子育てについて相談したり頼れる子育てを通じた友人が身近にいる乳幼児の親の割合	57.4%	〃	49.3%	〃	乳保 問7	70%	D	
	子育てについて相談したり頼れる近所の人がある乳幼児の親の割合	22.9%	〃	18.8%	〃	乳保 問7	35%	D	
	子育てについて相談したり頼れる配偶者がいる乳幼児の親の割合	82.7%	〃	83.5%	〃	乳保 問7	増加	A	
	1歳6か月児健康診査(内科)の満足度	89.2%	平成23年度 1歳6か月児 科健康診査時調査	93.7%	平成28年度 1歳6か月児 科健康診査時調査		増加	A	
	妊娠11週以下の妊娠届出割合	86.3%	平成23年度 事業統計	90.3%	平成28年度 事業統計		100%	B	
	地域子育て支援センターと母子保健課での母子健康手帳の交付割合	52.5%	〃	100%	〃		60%	A	
行動目標② 親は自分らしい時間 を過ごします	時には子どもを預け、趣味など自分の時間を持つことができていると思う乳幼児の親の割合	43.7%	第2次プラン調査 (平成23年度)	41.8%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問9	55%	C	☆
	子育て以外の時間を持つことを勧めてくれる乳幼児の父親の割合	64.2%	〃	64.7%	〃	乳保 問11	75%	C	☆
	子育てをよくやっている乳幼児の父親の割合	41.7%	〃	45.7%	〃	乳保 問12	50%	C	☆
	子育て中の母親であっても自分の時間を持つのがよいと思う人の割合	小学生親 81.3% 成人 71.4% 高齢者 50.4%	〃	小学生親 81.5% 成人 74% 高齢者 53.8%	〃	小保 問8 成人 問25 高齢 問26	小学生親 85% 成人 75% 高齢者 55%	C B B	
	ファミリー・サポート・センターの会員数	協力会員123件 両方会員102件 (依頼会員647件)	平成23年度 事業統計	協力会員106件 両方会員 52件 (依頼会員643件)	平成28年度 事業統計		協力・両方会員の 増加	D D	
	リフレッシュ目的でのファミリー・サポート・センター利用割合	3.3%	〃	4.2%	〃		6%	C	

めざす姿2 親も子ども地域の中で育ちあう	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆		
上位指標	子育てをしていることで、自分は成長していると感じる乳幼児の親の割合	83.3%	第2次プラン調査 (平成23年度)	83.3%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問10	増加	C	☆
行動目標① 地域の中で安心して 子育てします	地域の人に見守られ安心して子育てができていると思う親の割合	乳幼児親 55.6% 小学生親 59.5%	〃	乳幼児親 52.2% 小学生親 60%	〃	乳保 問14 小保 問9	乳幼児親 65% 小学生親 70%	C C	☆
	ここ1年の間に周囲の子育て中の人に声をかけたり手助けしたり相談にのったことがある人の割合	小学生親 55.4% 成人 35.9% 高齢者 27.2%	〃	小学生親 55.4% 成人 38.5% 高齢者 26.1%	〃	小保 問10 成人 問24 高齢 問25	小学生親 65% 成人 45% 高齢者 35%	C C C	☆
	【再掲】子育てについて相談したり頼れる近所の人がある乳幼児の親の割合	22.9%	〃	18.8%	〃	乳保 問7	35%	D	
	子どもが健やかに育つためには学校や保護者任せにせず地域住民も協力していくのが望ましいと思う人の割合	小学生親 52.2% 成人 57.7% 高齢者 55.5%	〃	小学生親 49.8% 成人 56.4% 高齢者 55.3%	〃	小保 問8 成人 問25 高齢 問26	小学生親 60% 成人 70% 高齢者 65%	D D C	
	周囲の人との人間関係で悩みや不安・心配を感じている乳幼児の親の割合	16.3%	〃	16.4%	〃	乳保 問6-1	10%以下	C	
	子育ての経験を地域の中で活かすことができていると思う親の割合	乳幼児親 21.3% 小学生親 34.3%	〃	乳幼児親 20.3% 小学生親 35%	〃	乳保 問15 小保 問11	乳幼児親 30% 小学生親 45%	C C	☆
行動目標② 親は子育ての経験を 地域の中で発揮 します	地域子育て支援センターでの親の自主活動支援数	41件 (平成22年度)	平成22年度 事業統計	32件	平成28年度 事業統計		増加	D	
	市内のサークル数(子ども支援センターすてっぷ21で把握しているサークル)	23サークル	平成23年度実績	13サークル	平成28年度実績		増加	D	
	【再掲】子育てについて相談したり頼れる子育てを通じた友人が身近にいる乳幼児の親の割合	57.4%	第2次プラン調査 (平成23年度)	49.3%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問7	70%	D	
	【再掲】子育てについて相談したり頼れる近所の人がある乳幼児の親の割合	22.9%	〃	18.8%	〃	乳保 問7	35%	D	
行動目標③ 父親も子育てを通して 地域と交流を持ち 家族や仲間と子 育てを楽しみます	父親が子育てを楽しんでいると思う親の割合	乳幼児親 81.7% 小学生親 66.7%	〃	乳幼児親 85.3% 小学生親 69%	〃	乳保 問13 小保 問5	乳幼児親 増加 小学生親 75%	C C	☆
	地域子育て支援センター・母子保健課での父親向け事業の数と父親参加数	地域子育て支援センター 6回138名 母子保健課 12回268名	平成23年度実績	地域子育て支援センター 6回100名 母子保健課 12回216名	平成28年度実績		増加	D D	

めざす姿3 子どもが心身ともに健やかに成長している		基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	
上位指標	毎日を元気に楽しく暮らしていると思う子の割合	小学生 91.8% 中学生 90.3%	第2次プラン調査 (平成23年度)	小学生 91.3% 中学生 90%	第2次プラン調査 (平成28年度)	小学生 問3 中学生 問1	増加 C C	☆	
	子どもが心身共に健やかに発育・発達していると感じる親の割合	乳幼児親 93.6% 小学生親 90.6%	〃	乳幼児親 92.9% 小学生親 89%	〃	乳保 問16 小保 問12	増加 C C	☆	
行動目標①	休日や放課後、友だちや兄弟姉妹と週3日以上外遊びをしている子の割合	乳幼児親 73.8% 小学生親 55.7% 小学生 57.5%	〃	乳幼児親 72.2% 小学生親 55% 小学生 47.4%	〃	乳保 問17 小保 問13 小学生 問5	乳幼児親 80% 小学生親 65% 小学生 65%	C C D	☆
	子どもの非活動時間(テレビ視聴、パソコン、ゲームなど)に対して時間などの制限を設けている親の割合	乳幼児親 37.8% 小学生親 48.3%	〃	乳幼児親 46% 小学生親 54%	〃	乳保 問18 小保 問14	乳幼児親 70% 小学生親 70%	B B	
	「自分の住まいの周辺は、子どもが遊ぶのに安心な環境だ」と思う親の割合	乳幼児親 52.4% 小学生親 51.0%	〃	乳幼児親 52.1% 小学生親 58.7%	〃	乳保 問19 小保 問15	乳幼児親 60% 小学生親 60%	C B	☆
	【再掲】子育てについて相談したり頼れる子育てを通じた友人が身近にいる乳幼児の親の割合	57.4%	〃	49.3%	〃	乳保 問7	70%	D	
	【再掲】子育てについて相談したり頼れる近所の人がいる乳幼児の親の割合	22.9%	〃	18.8%	〃	乳保 問7	35%	D	
行動目標②	自己肯定感が高い子の割合(「私はやればできる・自分のことが好き」共に肯定)	小学生 55.2% 中学生 39.3%	〃	小学生 51.8% 中学生 44.9%	〃	小学生 問3 中学生 問1	小学生 70% 中学生 60%	D B	
	小中学生の肥満の割合(ローレル指数)	小学生 9.8% 中学生 10.8%	平成23年度 健康診断統計	小学生 10.8% 中学生 8.7%	平成27年度 健康診断統計 (参考:村田式 6.3%) (参考:村田式 6.7%)		7%以下	D B	
	小中学生のやせの割合(ローレル指数)	小学生 23.8% 中学生 33.2%	〃	小学生 23.3% 中学生 37.8%	〃		減少	A D	
	朝食の欠食率	小学5年生1.6% 中学2年生4.7%	平成23年度学校給食実施 状況調査	小学5年生1.0% 中学2年生3.1%	平成28年度学校給食実施 状況調査		現状維持	A A	
	朝食または夕食を家族と一緒に食べる頻度(家族との共食頻度)	小学生 10.5回/週 中学生 10.3回/週	第2次プラン調査 (平成23年度)	小学生 10.3回/週 中学生 10.5回/週	第2次プラン調査 (平成28年度)	小学生 問8 中学生 問7	現状維持	A A	
	家族と食事をするのが楽しい小学生の割合	92.1%	〃	87.9%	〃	小学生 問9	現状維持	D	☆
	からだによい食べ物や栄養バランスのよい食事に興味がある子の割合	小学生 68.0% 中学生 58.7%	〃	小学生 74.9% 中学生 65.1%	〃	小学生 問4 中学生 問6	小学生 80% 中学生 70%	C C	☆
	子どもと一緒に月2回以上食事づくりをする小学生の親の割合	26.2%	〃	22.6%	〃	小保 問18	40%	C	☆
	料理をすることに興味がある子の割合	小学生 75.7% 中学生 70.6%	〃	小学生 76.7% 中学生 70%	〃	小学生 問4 中学生 問6	小学生 80% 中学生 75%	C C	☆
	小学生がつかれるような料理を知っている小学生の親の割合	89.1%	〃	84.8%	〃	小保 問19	現状維持	C	☆
	農業体験を実施している学校数	小学校23校中14校 中学校11校中10校	平成23年度実績	小学校22校中11校 中学校11校中8校	平成28年度実績		小学校増加 中学校現状維持	D D	
	農業生産者と関わりのある食育を実施している小学校数	小学校 5校	〃	小学校22校	〃		小学校全校	A	
	農業を体験することに興味のある子の割合	小学生 64.3% 中学生 39.9%	第2次プラン調査 (平成23年度)	小学生 60% 中学生 40.4%	第2次プラン調査 (平成28年度)	小学生 問4 中学生 問6	小学生 70% 中学生 45%	C C	☆
	学校給食における地場産物を使用する割合(県内産)	32.4%	平成23年度 学校給食 食材料調査	36%	平成28年度 学校給食 食材料調査		現状維持	A	
	行動目標③	中学生が性関係を持つことについて容認する中学生の割合	中学3年 32.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	中学3年 33.1%	第2次プラン調査 (平成28年度)	中学生 問10	15%以下	C
自身が高校生になってから、性関係を持つことを肯定する中学生の割合		中学3年 36.9%	〃	中学3年 38.4%	〃	中学生 問11	20%以下	C	☆
【再掲】自己肯定感が高い子の割合(「私はやればできる・自分のことが好き」共に肯定)		小学生 55.2% 中学生 39.3%	〃	小学生 51.8% 中学生 44.9%	〃	小学生 問3 中学生 問1	小学生 70% 中学生 60%	D B	
中学生の喫煙経験率		男子 8.7% 女子 5.3%	平成21年度 改訂版策定 のためのアンケート	男子 3.2% 女子 2.0%	〃	中学生 問8	0%	B B	
中学生の飲酒経験率		男子 35.5% 女子 27.4%	〃	男子 17.9% 女子 14.3%	〃	中学生 問9	0%	B B	
中学生のやせの割合(ローレル指数)		男子 40.9% 女子 24.8%	平成23年度 健康診断統計	男子 46.5% 女子 29.1%	平成27年度 健康診断統計 (参考:村田式 5.5%) (参考:村田式 7.2%)		減少	D	
避妊法について知っている中学生の割合		中学3年 8.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	中学3年 6.8%	第2次プラン調査 (平成28年度)	中学生 問12	50%	D	
・避妊法についての3つの質問に全問正解の割合		中学3年 5.3%	〃	中学3年 4.2%	〃	中学生 問12	50%	D	
・性感染症について知っている中学生の割合		小学生 72.8% 中学生 72.4%	〃	小学生 77.8% 中学生 76.5%	〃	小学生 問3 中学生 問1	小学生 80% 中学生 80%	B C	☆
・性感染症についての3つの質問に全問正解の割合		小学生父親 81% 母親 95.4% 中学生父親 75.1% 母親 91.1%	〃	小学生父親 78.1% 母親 95.2% 中学生父親 73.2% 母親 88.4%	〃	小学生 問10 小学生 問10 中学生 問4 中学生 問4	小学生 父親 増加 母親 現状維持 中学生 父親 増加 母親 現状維持	C A C D	☆ ☆有意差なし ☆
子どもと対話のある小学生の保護者の割合		父親 78.9% 母親 97.2%	〃	父親 80% 母親 97.5%	〃	小保 問21 小保 問21	現状維持	A A	☆ 有意差なし
大切にしてくれる大人がいる子の割合		小学生 94.3% 中学生 89.1%	〃	小学生 93% 中学生 89.7%	〃	小学生 問3 中学生 問1	現状維持	C D	☆
行動目標④	生活リズム(早寝・早起き)に気をつけている親の割合	乳幼児親 94.4% 小学生親 94.7%	〃	乳幼児親 94.8% 小学生親 95%	〃	乳保 問20 小保 問17	現状維持	A A	☆ 有意差なし
	3歳児におけるむし歯のない人の割合	76.1%	平成23年度 事業統計	82.5%	平成28年度 事業統計		80%	A	
	12歳児におけるむし歯のない人の割合	56.3%	平成23年度 学校保健統計	68.8%	平成28年度 学校保健統計		65%	A	
	12歳児における1人平均むし歯数(DMF歯数)	0.95歯	〃	0.5歯	〃		0.5歯	A	
	フッ素配合歯みがき剤を使っている(小学生親は子どもに使わせている)人の割合	小学生親 52.9% 中学生 42%	第2次プラン調査 (平成23年度)	小学生親 55% 中学生 47.5%	第2次プラン調査 (平成28年度)	小保 問20 中学生 問2	小学生親 80% 中学生 80%	B B	
	1歳6か月児 参考値 60.7%	平成24年度 事業統計(10~1月)	75.7%	平成28年度 事業統計			1歳6か月児 70%	A	
	定期的に歯科健診を受けている人(小学生親は子どもに受けさせている)の割合(学校歯科健診以外にも受けている割合)	小学生親 52.7% 中学生 20.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	小学生親 58.5% 中学生 24.7%	第2次プラン調査 (平成28年度)	小保 問20 中学生 問2	小学生親 65% 中学生 30%	B B	
	妊娠届出時に喫煙している母親の割合	2.9%	平成23年度 事業統計	1.7%	平成28年度 事業統計		0%	B	
	10か月児を持つ母親の喫煙割合	2.9%	〃	2.4%	〃		0%	C	
	1歳6か月児健康診査時において家族内に喫煙者がいる割合	39.6%	〃	20.7%	〃		35%以下	A	
	妊婦の飲酒率	今後調査予定		1.4%	〃		0%	E	
	BCG予防接種の接種率	95.8%	平成23年度 事業統計	101.1%	〃		95%維持	A	
	麻しん風しん混合予防接種(第1期・第2期)の接種率	第1期 91.9% 第2期 95.5%	〃	第1期 100% 第2期 94.1%	〃		第1期 95% 第2期 95%維持	A D	
	かかりつけの小児科医を持つ乳幼児の親の割合	96.9%	第2次プラン調査 (平成23年度)	95.9%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問21	100%	C	☆
	休日・夜間救急医を知っている親の割合	93.9%	平成23年度1歳6か月児 歯科健康診査時調査	94.9%	平成28年度1歳6か月児 歯科健康診査時調査		100%	B	
	誤飲防止の取り組み割合(たばこ・マッチ・薬・化粧品・洗剤などを子どもの手の届かないところに置いている)	91.9%	〃	94.9%	〃		95%	B	
	転落防止の取り組み割合(階段や段差のあるところには、子どもが落ちないように対策をしている)	69.5%	〃	73.7%	〃		80%	B	
	溺水防止の取り組み割合(浴室のドアに子どもが一人で開けることのできない工夫をしている)	51.8%	〃	33%	〃		100%	E	
小児・乳児に対する心肺蘇生法を受講した人の数 (平成24年度からコース開催)	今後調査予定		21回 228名	平成28年度実績		受講者数の増加	E		

資料3 【はつらつ成年世代】

八千代市第2次健康まちづくりプラン 指標数値の比較一覧

【判定区分と判定基準】

- A (達成) : 直近値が目標値を既に達成している
- B (改善傾向) : 直近値が目標値に達していないが、基準値と比較すると改善している
- C (横ばい) : 直近値が基準値に比べ、変わらない
- D (後退) : 直近値が基準値に比べ、悪化している
- E (判定不能) : 調査内容の違いなどにより判定ができない

※☆印がある指標は検定を行った。基準値と直近値に有意な増減があった場合には判定が「B」か「D」、有意な差が認められない場合には「C」となる。☆印がない指標は1ポイント未満の増減は「C」、1ポイント以上の増減で目標値に達していない場合は「B」か「D」となる。

	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康感との 関連		
基本目標1 子どもから高齢者までみんないきいき暮らすまち・やちよ										
毎日を健やかに充実して暮らしていると思う市民の割合	82.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	80.9%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問26	増加	C	☆		
基本目標2 みんなのいきいきを応援しあうまち・やちよ										
地域の中に健康を支え合う関係があると思う市民の割合	47.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	43%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問27	増加	C	☆		
基本目標3 健康な暮らしの環境づくりをすすめるまち・やちよ										
健康に暮らせる環境づくりをすすめているまちと思う市民の割合	37.2%	第2次プラン調査 (平成23年度)	33.7%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問28	増加	C	☆		
めざす姿1	地域とのつながりを保ちながら、心身ともに支障がなく、自分らしい生活ができる	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康感との 関連	
上位指標	心身ともに支障なく、仕事、家事、育児等ができて いる人の割合	84.7%	第2次プラン調査 (平成23年度)	80.5%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問21	増加	C	☆	
行動目標① 健康に配慮し、 楽しく食べます	適正体重を保っている人の割合(BMI標準)	67.9%	〃	69.1%	〃	成問16	75%以上	B	☆	
	健康のために、栄養バランス(主食・主菜・副 菜)を考えて食べることを重視している人の割合	52.8%	〃	43.2% ※1	〃	成問2	75%以上	E		
	朝食の欠食率	18～20歳代男性 36.1% 30歳代男性 24.4% 18～20歳代女性 22.2% 30歳代女性 16.2%	〃	18～20歳代男性 27.5% 30歳代男性 30.4% 18～20歳代女性 19.6% 30歳代女性 7.4%	〃	成問1	男女とも 15%以下	C C C C	☆	有り
	健康に配慮したメニューや栄養成分表示など があるお店が増えていると思う人の割合	63.2%	〃	67.5%	〃	成問4	75%以上	C	☆	有り
	健康ちば協力店など食の健康に取り組む店舗 数	健康ちば協力店登録数 33店舗 習志野健康福祉センター 事業統計	〃	健康ちば協力店登録数 36店舗 習志野健康福祉センター 事業統計	〃	〃	増加	A A		
行動目標②	ストレスに対処できていると思う人の割合	71.7%	第2次プラン調査 (平成23年度)	69.5%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問8	80%以上	C	☆	有り
こころの健康を 保ちます	毎日の睡眠がとれていると思う人の割合	67.5%	〃	60.3%	〃	成問7	増加	D	☆	有り
	1年以上前から1回30分以上の運動を週2回以上 実施している人の割合	18～64歳 39.4% 18～39歳 28.8% 40～64歳 45.2%	〃	18～64歳 38.3% 18～39歳 39.6% 40～64歳 37.7%	〃	成問6	18～64歳 50%以上 18～39歳 40%以上 40～64歳 55%以上	C B D	☆	有り
行動目標③	日常生活の中で、週3日以上健康のために少し 息がはずむくらい体を動かすことを心がけてい る人の割合	18～64歳 19.6% 18～39歳 22.0% 40～64歳 17.8%	〃	18～64歳 19.3% 18～39歳 21.5% 40～64歳 18.5%	〃	成問6-1	30%以上	C C C		
行動目標④ 生活の中からた ばこの煙を減らし ます	喫煙率	男性 32% 女性 11.4%	〃	男性 31% 女性 9.2%	〃	成問9	男性 20%以下 女性 5%以下	C C	☆	
	たばこをやめたいと思う人の割合	36.5%	〃	28.8%	〃	成問9-1	45%以上	D		
	禁煙を支援する医療機関や歯科医療機関を知 っている人の割合	71.6%	〃	72.5%	〃	成問10	80%以上	B	☆	
	職場・飲食店において、禁煙・分煙が進んでい ると感じる人の割合	職場 60.6% 飲食店 10.1%	〃	職場 59.9% 飲食店 14.7%	〃	成問11	職場 70%以上 飲食店 20%以上	C B	☆	
行動目標⑤ 歯と口腔の状態 に不安をかかえ ることなく、おい しく食べます	60歳で24本以上自分の歯を有する人の割合	83.3%	平成23年度 成人歯科 健康診査統計	68.8%	平成28年度 成人歯科 健康診査統計		90%以上	D		
	自分の歯でおいしく食事ができると思う人の割合	94.4%	第2次プラン調査 (平成23年度)	94.8%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問20	増加	A	☆有意差 なし	
	定期的に(1年に1回以上)歯科健診を受けてい る人の割合	36.1%	〃	39.4%	〃	成問18	60%以上	C	☆	有り
	ふだん、歯や口の健康のために、特に取り組ん でいることがない人の割合	23%	〃	17.2%	〃	成問19	減少	A		
行動目標⑥	休肝日をつくり、 お酒と上手につ きあいます	18.8%	〃	20.8%	〃	成問5	減少	C	☆	
行動目標⑦ 生活習慣病の早 期発見・早期治 療、生活の見直 しに努めます	がん検診もしくは特定健康診査などを定期的に 受けている人の割合	71.6%	〃	77.5%	〃	成問13-14	80%以上	B		
	がん検診を定期的に受けている人の割合	44%	〃	45%	〃	成問14	55%以上	C	☆	なし
	特定健康診査などを定期的に受けている人の 割合	61.3%	〃	72.1%	〃	成問13	70%以上	A	☆ 有意な増 加	有り
	健(検)診で要指導・要医療と指摘されたことが ある人のうち、自分で生活に気をつけている人 の割合	39.2%	〃	33.6%	〃	成問15	55%以上	D		
行動目標⑧ 地域の情報を得 て、地域への関 心を持ちます	地域の団体の活動やそれらが開くイベントに参 加している人の割合	43.6%	〃	41.2% ※2	〃	成問22	55%以上	E		
	地域の活動やイベントに参加していない人のう ち、どのような活動が行われているか知らない、 参加の方法がわからない人の割合	30.7%	〃	32.4%	〃	成問22-1	20%以下	D		
	【再掲】生涯学習情報が得られやすいと感じて いる市民の割合	18%	市民満足度調査 (平成23年度)	19.9%	市民意識調査 (平成27年度)		50%	B		

※1, 2 聞き方の変更により参考値

資料3 【いきいき高齢者世代】

八千代市第2次健康まちづくりプラン 指標数値の比較一覧

【判定区分と判定基準】

- A (達成) : 直近値が目標値を既に達成している
- B (改善傾向) : 直近値が目標値に達していないが、基準値と比較すると改善している
- C (横ばい) : 直近値が基準値に比べ、変わらない
- D (後退) : 直近値が基準値に比べ、悪化している
- E (判定不能) : 調査内容の違いなどにより判定ができない

※☆印がある指標は検定を行った。基準値と直近値に有意な増減があった場合には判定が「B」か「D」、有意な差が認められない場合には「C」となる。☆印がない指標は1ポイント未満の増減は「C」、1ポイント以上の増減で目標値に達していない場合は「B」か「D」となる。

基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康 感との関連
-----------------	----	-----------------	----	-----------------	----	----------	----------------

基本目標1 子どもから高齢者までみんないきいき暮らすまち・やちよ

毎日を健やかに充実して暮らしていると思う市民の割合	84.2%	第2次プラン調査 (平成23年度)	84.5%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問28	増加	C	☆	
---------------------------	-------	----------------------	-------	----------------------	------	----	---	---	--

基本目標2 みんなのいきいきを応援しあうまち・やちよ

地域の中に健康を支え合う関係があると思う市民の割合	51.7%	第2次プラン調査 (平成23年度)	47.4%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問29	増加	D	☆	
---------------------------	-------	----------------------	-------	----------------------	------	----	---	---	--

基本目標3 健康な暮らしの環境づくりをすすめるまち・やちよ

健康に暮らせる環境づくりをすすめているまちと思う市民の割合	45.9%	第2次プラン調査 (平成23年度)	40.6%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問30	増加	C	☆	
-------------------------------	-------	----------------------	-------	----------------------	------	----	---	---	--

めざす姿1	生きがいをもち、いきいき過ごしている	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康 感との関連
上位指標	生きがい(喜びや楽しみ)を感じている高齢者の割合	81.5%	第2次プラン調査 (平成23年度)	79.2%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問19	増加	C	☆ 有り
行動目標① 趣味などを 楽しんだり、何ら かの地域活動 を通じて、自ら の力を発揮し ます	団体活動やイベント等に参加している高齢者の割合	46.2%	〃	53.1%	〃	高問20	55%以上	C	☆
	参加したいと思わない高齢者の割合	36.8%	第2次プラン調査 (平成23年度)	39.3%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問20-1	25%以下	D	
	気軽に参加できる活動が少ない高齢者の割合	8%	〃	13.9%	〃	〃	5%以下	D	
	活動場所が近くにない高齢者の割合	6.6%	〃	10.1%	〃	〃	3%以下	D	
	【再掲】生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合	18%	市民満足度調査 (平成23年度)	19.9%	市民意識調査 (平成27年度)		50%	B	

めざす姿2	身近な場所でのふれあいを楽しんでいる	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康 感との関連
上位指標	近所の人とお茶を飲む等、親しい付き合いをしている高齢者の割合	19.9%	第2次プラン調査 (平成23年度)	23.4%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問21	25%以上	C	☆
行動目標① 近所の人(子 どもを含む)と 楽しい時間を 過ごします	近所の人と立ち話す程度の付き合いをしている高齢者の割合	40.3%	〃	40.4%	〃	高問21	45%以上	C	
	近所の子どもとあいさつしたり、会話をしている高齢者の割合	47.8%	〃	48%	〃	高問24	55%以上	C	☆ 有り
	自宅以外の身近な場所で仲間と気軽に集まって過ごせる場がある高齢者の割合	51.2%	〃	54.3%	〃	高問23	60%以上	C	☆ 有り
	ここ1年、身内以外の高齢者と話す機会があった(話し相手になった)人の割合	成人 26.2% 中学生 29%	〃	成人 31.7% 中学生 34.9%	〃	成問23 中間5	30%以上 35%以上	A B	
	ここ1年、同年代や自分より年上の人を地域の行事や会合に誘った高齢者の割合	11.6%	〃	12%	〃	高問22	20%以上	C	
	ここ1年、身内以外の高齢者に声かけや手助けなどをしたことがない人の割合	成人 22.5% 中学生 11.2%	〃	成人 21.6% 中学生 14.4%	〃	成問23 中間5	15%以下 5%以下	C D	
介護に関する不安や疑問があった時の相談先がわからない高齢者の割合	9.8%	〃	13.5%	〃	高問27	減少	D		

めざす姿3	心身機能を保ち、認知症、ロコモティブ症候群、低栄養など老年症候群を予防する	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康 感との関連
上位指標	65歳平均自立期間(八千代市)	男性 17.45年 女性 20.06年 (平成20年)	平成24年度健康 ちば計画策定 作業部会会議資料	男性 17.69年 女性 20.42年 (平成25年)	千葉県 健康情報ナビ	延伸	A		
行動目標① 気軽に楽しく運 動を続けます	意識的にいつも体を動かしている高齢者の割合	44.9%	第2次プラン調査 (平成23年度)	42.9%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問10	55%以上	D	☆ 有り
	身近な場所で気軽に体を動かせる場所がある高齢者の割合	80.8%	〃	80.7%	〃	高問11	増加	C	☆ 有り
	やちよ元気体操応援隊による自主グループ数	13グループ	平成23年度 事業統計	65グループ	平成28年度 事業統計		35グループ	A	
行動目標② 食を楽しみ、 低栄養の予防 に努めます	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合	19.3%	平成23年度 健康診査統計	18.7%	平成28年度 健康診査統計		減少	A	
	日頃の食生活で健康のための取り組みとして、毎日3食食べている高齢者の割合	74.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	指標削除			85%以上	E	
	日頃の食生活で健康のための取り組みとして、栄養のバランス(主食・主菜・副菜)を考へて食べる高齢者の割合	72.6%	〃	77.4% ※1	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問1	増加	E	有り
	外食・中食をする時に、健康のために野菜が多いメニューや野菜料理を一品プラスして選ぶ高齢者の割合	32%	〃	36.3%	〃	高問2	40%以上	B	
	食生活について気になることがある時、相談先がわからない高齢者の割合	3.6%	〃	3.6%	〃	高問5	減少	C	
	食生活について気になることがある時、相談しない高齢者の割合	19.4%	〃	19%	〃	高問5	15%以下	C	
行動目標③ 歯と口腔の健 康を保ち、お いしく食べます	家族や友人と一緒に食事している高齢者の割合	83.8%	高齢者保健福祉・介護保険ニーズ 調査結果報告書H23年3月	68.1% ※2	高齢者保健福祉・介護保険ニーズ 調査結果報告書H29年3月		増加	E	
	食事に支障なく噛める高齢者の割合	57.1%	〃	84.3% ※3	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問6	70%以上	E	有り
	80歳で20本以上自分の歯を有する人の割合	75.1%	平成23年度成人歯科健 康診査統計	69.4%	平成28年度成人歯科健 康診査統計		増加	D	
	定期的に(1年に1回以上)歯科医院で歯科健診を受けている高齢者の割合	50.4%	第2次プラン調査 (平成23年度)	60.9%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問7	65%以上	B	☆ 有り
	日に2回は時間をかけて、ていねいに歯みがきをする高齢者の割合	40%	〃	42.1%	〃	高問8	50%以上	B	
行動目標④ ストレスと上手 につきあい、1 人で悩まず誰 かに相談します	舌の体操やだ液が出やすくなるマッサージを行っている高齢者の割合	5.1%	〃	7.8%	〃	高問8	20%以上	B	
	ストレス(不安や悩みなど)に対処できている高齢者の割合	79.4%	〃	81.7%	〃	高問13	増加	A	☆有意差 なし 有り
	睡眠による休養がとれている高齢者の割合	84.5%	〃	80.7%	〃	高問14	増加	C	☆ 有り
	不安や悩みを抱えた時の相談先を知っている高齢者の割合	87.1%	〃	85.6%	〃	高問15	増加	D	

※1, 2 聞き方の変更により参考値 ※3 選択肢の変更により参考値